



かえるの声

平成26年 5月 9日(金) 発行

No. 3

途別小学校の教育目標
あかるい子(徳)
かしこい子(知)
たくましい子(体)
知・徳・体をバランスよく育てよう

「自分大好き」「チャレンジ大好き」



4月28日(月)、図書室で前期児童会総会が行われました。昨年度も自分たちで考えたユニークな取組が提案され、しっかりと実践する姿がとても印象的でした。今年度の各部の計画にも楽しみな内容が見られ、目的をもってチャレンジする活動が展開されそうです。承認した子どもたちには「みんなで協力して、承認した責任を果たすこと」を伝えました。「チャレンジ大好き」な子ども、「チャレンジする自分大好き」な子どもを全職員でかわりながら育てています。

ご協力ありがとうございました「途別校下をきれい」に

5月1日(木)の6時間目に、地域の老人会(長寿会・寿会)の方々を行う、地域清掃活動を実施しました。老人会から11名のご協力をいただき、児童18名、職員10名、計39名で3グループ、3方面に分かれ、沿道のゴミ拾いを行いました。子どもたちは祖父母の方々とともに、道路下まで降り、様々なゴミを積極的に拾いました。「またタバコがありました。」と何度も袋に入れにくる子どもたち。タバコのポイ捨てはまだまだ多いようです。ただ空き缶やダンボールなどのゴミは昨年度から比べるとかなり減っていて、毎年行っているこの取組の成果が表れてきたものと考えます。「地域をいつまでも美しく」という思いが道行く人たちにも伝わっているとしたらとてもうれしいことです。「ふるさと大好き」な子どもたちを育てる教育活動へのご協力、本当にありがとうございました。



みんなで楽しむグラウンド開き

王様ドッジボールのルールを説明します



5月2日(金)に児童会保健体育委員会主催のグラウンド開きを行いました。児童会初参加の3年生が「王様ドッジボール」のルール説明という大役を立派に務め、短時間でしたが全員で心から楽しむ時間を過ごすことができました。縦割りのグループで輪になって作戦会議をする子どもたちの姿が、何とも可愛らしく、全校で仲良くできることの良さを改めて実感しました。



ねらわれた～助けて～



がんばるぞ!

自分の身は自分で守る

5月7日(水)の春の避難訓練(地震想定)では、真剣かつ迅速な避難行動、静かに話を聞く態度など、子どもたちの素晴らしい姿を見ることができました。ふざけたり、外に出てから歩いたりするようなこともなく、様子を見ていただいた消防署の方からも「子どもたちの避難行動は満点です。」と高い評価をいただきました。「自分の身は自分で守る」という日頃の教職員の指導が、成果として表れた時間でした。

避難訓練の他に、地震後に起きた火災を想定し、スモークマシンを使った「煙が充満した建物からの避難」について体験することもでき、大変実践的な訓練となりました。

放送の指示をしっかりと聞いて迅速に行動する子どもたち。



ふざける人は1人もいません。みんな真剣に訓練しています。

避難後の行動も静かに素早くできました。まんてんです。



スモークマシンで煙(人体に無害)を出していただきました。家庭科室は床しか見えない状態。さあ、無事に出口までたどりつけるかな?



緑色の非常口のマークをよく見て、避難するといいですよ。